

オプション検査案内

オプション検査は性別や年齢、家族歴、生活習慣、前回の結果などによって、それぞれにおすすめしたい検査が異なります。以下の案内を参考にしてご検討ください。

かかりつけ医のある方は主治医にもご相談ください。

また、自覚症状のある方はオプション検査ではなく病院を受診して保険診療を受けてください。

***協会けんぽ・いきいきがん検診の場合は、料金が異なる項目があります。送付される案内資料やお手持ちのクーポン券をご確認ください。**

【がん検診】

胸部低線量 CT 検査（肺がん）

料金：8,800 円（税込）

通常の胸部レントゲン写真では見えにくい微小ながんや心臓や骨に隠れた病変を発見します。

他にも気管や気管支などを観察します。肺がんはがん死亡原因の男性第 1 位、女性第 2 位です。

おすすめしたい方 ○喫煙者や過去に喫煙歴のある方

（特に 50 歳以上で喫煙指数＝1 日の平均喫煙本数×喫煙年数が 600 以上の方）

○同居家族が喫煙する方

○肺の病気の家族歴がある方

注意事項 ○妊娠中または妊娠の可能性のある方は受けられません

喀痰細胞診検査（肺がん）

料金：5,500 円（税込）

痰の中にがん細胞があるかどうか調べる検査です。胸部レントゲン検査だけでは発見しにくい気管支内や肺の入口付近のがんを早期発見するのに有効です。できるだけ早朝の痰を 3 日間採取することで精度が向上します。お申込みの場合は事前に検査容器をお送りします。

おすすめしたい方 ○喫煙者や過去に喫煙歴のある方

（特に 50 歳以上で喫煙指数＝1 日の平均喫煙本数×喫煙年数が 600 以上の方）

○同居家族が喫煙する方

○痰がよく出る方

大腸内視鏡（大腸カメラ）検査（大腸がん）

料金：17,050 円（税込）

大腸がんはがん死亡原因の女性第1位、男性第2位です。出血しないポリープや早期がんもあるため、検便検査だけでは不十分です。

おすすめしたい方 ○便秘や下痢などの便通異常が気になる方

○40 歳以上で一度も大腸カメラ検査を受けたことがない方

注意事項 ○健診と同日に行うことはできません

○検査前に消化器内視鏡専門医の問診・診察があります

○ポリープ切除などの治療行為は行いません

○人間ドックや健康診断で便潜血反応検査が陽性と指摘された方や血便の症状がある方、大腸ポリープを切除したことがある方などは、保険診療となりますので消化器内科でのご予約をお勧めします

腹部超音波検査（肝臓がん・すい臓がん・腎がんなど）

料金：5,500 円（税込）

人間ドックコースには含まれます

超音波を使って腹部の臓器を観察する検査法です。無症状で進行するがんの早期発見につながる大切な検査です。低侵襲で検査時間も10分程度です。ただし、消化管ガスの影響や体型によっては描出が難しい場合があるため、描出範囲内での評価になります。対象臓器は肝臓・膵臓・胆のう・総胆管・腎臓・脾臓・腹部大動脈です。がん以外にも脂肪肝や胆石、腎結石などが見つかることが多いです。

おすすめしたい方 ○40 歳以上の方

○肥満体型の方やお酒を毎日飲んでいる方

○血液検査で肝機能異常や検尿異常を指摘されたことがある方

注意事項 ○食後は観察が不十分となるため空腹時での検査となります

マンモグラフィ（乳がん）

料金：4,400 円（税込）

乳がん検診方法として効果があることが確認されている検査方法で、乳房を板で挟みながら圧迫して2方向からレントゲン撮影します。早期の小さな乳がんやしこりを作らない乳がん、石灰化を見つけるのに有効です。乳がんは女性の中では最も多いがんで、9人に1人がかかると言われています。40歳代後半から60歳代はとくにかかりやすい年齢です。早期に発見して治療すれば比較的生存率の高いがんです。

おすすめしたい方 ○40 歳以上の女性

注意事項 ○検査機器で乳房を圧迫するため、痛みを伴うことがあります

○乳がん術後や外来で経過観察中の方は、保険診療での検査をおすすめします

○以下の方は検査を受けられません

＊妊娠中または妊娠の可能性がある方

＊豊胸手術や乳房再建術（シリコン挿入）を受けた方

＊V P シャント（水頭症）手術を受けた方

＊植込み型ペースメーカー、植込み型除細動器、C V ポート（薬液注入器具）を挿入されている方

乳房超音波検査（乳がん）

料金：4,950 円（税込）

乳腺濃度が高い（高濃度乳房）の方は、マンモグラフィだけでは病変の認識が困難な場合があるため、マンモグラフィと併用することでがん発見率上昇が期待できます。

おすすめしたい方 ○マンモグラフィで高濃度乳房を指摘された方

注意事項 ○いきいき受診券で乳がん検診を予約された方は受けられません

○人数制限があります（1 日 2 名まで）

○午後からの検査になります

子宮頸がん検診【子宮頸がん検査・経膣超音波検査】

（子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がんなど）

料金：5,500 円（税込）

ブラシで子宮頸部の細胞を採り、がん細胞がないか調べます。以前は子宮頸がんは 40 歳代が最も多いと言われていましたが、最近では性交渉によるヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因で、20～30 歳代にも前がん状態の異形成が見つかる方が増えています。超音波検査は卵巣や子宮内膜、子宮筋腫などの病変を見つけるのに有効です。

おすすめしたい方 ○20 歳以上で性交体験のある女性の方

○卵巣がん、乳がんの家族歴がある方

腫瘍マーカー検査

がん発見のための補助的な血液検査です。がん細胞の数や、がん細胞が作る物質の量が多くなることで数値が上昇しますが、がん以外でも上昇することや、がんがあっても数値が上がらないこともあります。腫瘍マーカーだけではがんの診断は確定できないため、異常が指摘された場合は、画像診断も含めて厳密な検討をすることが必要です。

PSA（前立腺がん）＊男性のみ＊

料金：2,200 円（税込）

中高年の男性に急増する前立腺がんを高い精度で早期に発見します。50 歳以上の男性の方は、排尿に関する症状がなくても一度は検査を受けることをおすすめします。特に前立腺がんの家族歴がある方には強くおすすめします。

CEA（消化器系がん）

料金：2,200 円（税込）

大腸がん、胃がん、膵臓がん、肺がんで上昇することがあります。喫煙者や高齢者では、健常者でも上がる場合があります。

CA19-9（膵臓がん・胆道がんなど）

料金：2,200 円（税込）

主に膵臓がん、胆道がんで上昇します。他にも胃がん、肝がん、大腸がん、卵巣がんなどで上昇します。がん以外でも肝硬変や肝炎、胆石症、膵炎、糖尿病など幅広い疾患で上がる場合があるので注意が必要です。

CA125（子宮がん・卵巣がんなど）＊女性のみ＊

料金：2,200 円（税込）

主に卵巣がん、子宮がんで上昇します。他にも膵がん、大腸がん、肺がんや子宮内膜症、妊娠、月経でも上昇することがありますので、検査を受ける時期にご注意ください。

AFP（肝臓がん）

料金：2,200 円（税込）

肝細胞がんで上昇します。精巣がんや胃がんの一部や、肝硬変、肝炎、妊娠でも上がる場合があります。

<腫瘍マーカーセット>

男性：PSA・CEA・CA19-9

料金：3,850 円（税込）

女性：CEA・CA19-9・CA125

料金：3,850 円（税込）

【脳・血管・心臓系の検査】

頭部 MRI・MRA 検査

料金：16,500 円（税込）

強い磁力を使って被爆の心配なく脳の断面や脳血管を画像化します。脳腫瘍、脳梗塞、脳萎縮や脳動脈瘤、動脈の狭窄の有無がわかります。

- おすすめしたい方
- くも膜下出血、脳出血、脳梗塞の家族歴がある方
 - 高血圧・糖尿病・脂質異常症がある方
 - 飲酒・喫煙の習慣がある方
 - 頭痛持ちの方

注意事項

- 妊娠中または妊娠の可能性のある方は受けられません
- 閉所恐怖症の方、体内に金属が入っている方は受けられない場合がありますので、事前にお問い合わせが必要です

頸動脈超音波検査

料金：3,850 円（税込）

頸動脈を超音波で観察します。動脈の内膜の厚さや狭窄の有無など、動脈硬化の程度が画像でわかります。

- おすすめしたい方
- 高血圧、糖尿病、脂質異常症がある方
 - 喫煙歴のある方
 - メタボリックシンドロームと判定された方

血圧脈波検査

料金：2,200 円（税込）

四肢の血圧を同時に測定し、血管の硬さや下肢動脈血流の状態を数値化して血管年齢を調べます。動脈硬化や脳心血管系のリスクの有無がわかります。

- おすすめしたい方
- 高血圧、糖尿病、脂質異常症がある方
 - 喫煙歴のある方
 - メタボリックシンドロームと判定された方

注意事項

- 四肢に外傷や炎症のある方は医師による面談が必要です

BNP 検査

料金：2,530 円（税込）

心臓に負担がかかった状態かどうかを調べる、かくれ心不全を見つける血液検査です。

- おすすめしたい方
- 心臓の病気が心配な方
 - むくみが気になる方

注意事項

- 肥満や腎機能などの影響を受けるため、高いからといって必ずしも心不全と診断することはできません

【その他のオプション検査】

内臓脂肪 CT 検査

料金：3,300 円（税込）

内臓脂肪と皮下脂肪が数値と画像でわかります。

- おすすめしたい方 ○自分の脂肪量を知りたい方
 ○メタボリックシンドロームと判定された方

注意事項 ○妊娠中または妊娠の可能性のある方は受けられません

体組成測定検査

料金：1,650 円（税込）

体脂肪量、体水分量、筋肉量などを測定します。筋肉量は上肢・下肢・体幹別に図で表示されます。

- おすすめしたい方 ○現在の自分の脂肪量や筋肉量を知りたい方
注意事項 ○植込み型ペースメーカーを挿入されている方は受けられません

骨密度検査

料金：4,510 円（税込）

骨を構成しているカルシウムの量を測り骨密度を調べます。大腿骨頸部と腰椎の骨密度を測定します。

- おすすめしたい方 ○40 歳以上の閉経後の女性や 60 歳以上の男性
 ○やせている方やダイエット経験のある方
 ○骨折（特に圧迫骨折）したことのある方

注意事項 ○妊娠中または妊娠の可能性のある方は受けられません

ヘモグロビン A1c *人間ドックコースには含まれます*

料金：550 円（税込）

過去 1 ～ 2 か月間の平均した血糖の状態を調べる血液検査です。

- おすすめしたい方 ○糖尿病の家族歴がある方
 ○空腹時や随時血糖値の異常や尿糖を指摘されたことのある方

HPV 検査

料金：4,400 円（税込）

子宮頸がんをおこすヒトパピローマウイルス（HPV）の感染を調べる検査精度の高い検査です。

おすすめしたい方 ○性交体験のある女性すべての方
注意事項 ○子宮頸部細胞診と同時に実施できます

塩分摂取量測定

料金:550 円(税込)

一日の塩分摂取量を予測する尿検査です。

おすすめしたい方 ○血圧が高いといわれたことがある方
○むくみが気になる方
○味の濃い料理を好まれる方や外食の多い方

腸内フローラ検査

料金:18,700 円(税込)

腸内に生息する腸内細菌叢の状態を調べます。自宅で採便してポストに投函し、検査結果は自宅に郵送されます。結果には詳しい解説や生活習慣のアドバイスなども記載されています。

おすすめしたい方 ○便秘や下痢で悩んでいる方
○アレルギーやお肌のトラブル（ニキビや肌荒れ）が気になる方
○なかなかダイエットが成功しない方

甲状腺機能検査

料金:3,850 円(税込)

血液検査で甲状腺ホルモン（TSH、FT4）を測定します。甲状腺機能亢進症や甲状腺機能低下症などの疑いがないか調べます。

おすすめしたい方 ○女性で疲れやすく、なんとなく不調という方
○甲状腺の病気の家族歴がある方
○脂質異常を指摘されたことがある方

眼底検査 ＊人間ドックコースには含まれます＊

料金:1,430 円(税込)

眼底カメラで目の奥の網膜・視神経の状態を撮影する検査です。動脈硬化の程度や、高血圧、糖尿病による目の合併症や緑内障の疑いの有無などを調べます。

おすすめしたい方 ○高血圧、糖尿病といわれたことがある方
○視力が低下している方で眼科を受診していない方

注意事項 ○ハードコンタクトレンズははずして検査するため、ケースを持参してください

【オプションセット料金】

頭部 MRI・MRA 検査+血圧脈波検査+頸動脈超音波検査
動脈硬化の検査を希望する方におすすめです。

料金: 22, 000 円 (税込)

骨密度検査+頸動脈超音波検査
閉経後の女性におすすめです。

料金: 7,700 円 (税込)

子宮頸がん検診+HPV 検査
性交体験のある女性すべての方におすすめです。

料金: 9,460 円 (税込)

【年代別おすすめオプション】

<女性の全年代>

女性は子宮がんや乳がんの検査をおすすめします。比較的若い方もかかりやすいのが特徴なので、**子宮がんの検査**は 20 代から、**乳がんの検査**は 30 代後半から受けましょう。

<40 代>

飲酒や喫煙などによる生活習慣病が出てくる年代です。飲酒によって肝臓に負担がかかっているの**で腹部超音波検査**がおすすめです。

喫煙では肺へ負担がかかるだけでなく、動脈硬化による脳卒中や虚血性心疾患のリスクが高まります。**胸部低線量 C T 検査**で肺がんを、**血圧脈波検査や頸動脈超音波検査**で動脈硬化の程度を調べることをおすすめします。

女性で 40 代のうちに閉経された方には、**骨密度検査**をおすすめします。

<50 代以上>

がんや心血管系の病気にかかりやすくなる年代です。

がん対策としては、**胃検査や大腸内視鏡検査、胸部低線量 C T 検査、腹部超音波検査**を定期的に受けましょう。喫煙される方には**喀痰細胞診検査**を、また動脈硬化のリスクのある方には**血圧脈波検査や頸動脈超音波検査**を追加することをおすすめします。脳卒中の家族歴や動脈硬化リスクがある方は一度**脳ドック**を受けてみましょう。

男性は前立腺がんを調べるための **PSA 検査**を検討しましょう。特に前立腺がんの家族歴のある方には強くおすすめします。

女性はほぼ閉経を迎えるため、女性ホルモンの低下による骨密度低下や動脈硬化が現れてきます。骨密度検査や動脈硬化の検査を検討しましょう。